

真空管プリメインアンプ
TRV - 88ST



(写真はハンドル付の旧タイプです)

取扱説明書

2006年9月4日 第5版

Tri

TRIODE CORPORATION

株式会社 トライオード

〒343-0015 埼玉県越谷市花田2-17-10

TEL: 048-962-7109

FAX: 048-962-7309

ご使用前に必ず本書をお読み下さい。

このたびはトライオード製品をお買いあげ頂き誠に有り難うございます。
真空管システムの定番を目指して開発されたトライオード製品は製造からアフターサービスに至るまで一貫したサービス体制を築いておりますので、必ずやご満足頂けるものと思います。
末長く御愛用下さいますようお願い申し上げます。

取り扱いのご注意

- (1) 日本国内用の機器ですから電源プラグをAC100V家庭用コンセントにつないで下さい。
- (2) 理由の如何に関わらず分解、修理、改造はしないで下さい。内部には高電圧を使用していますので危険です。故障や内部点検の時はお買い上げ店または当社窓口までお問い合わせ下さい。
- (3) 電源コードは傷つけないで下さい。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないで下さい。感電や火災事故につながる恐れがあります。
- (4) 内部に異物や水分を入れないで下さい。故障の原因になります。
- (5) 雷が鳴り出したら電源コードやプラグに触らないで下さい。感電の原因になります。
- (6) 長期間使用しない場合は電源プラグを抜いて下さい。
- (7) 本体を持ち上げる際はフロントパネルにあるアングルは持たないで下さい。
- (8) 本機は本来の目的以外に使用しないで下さい。本来の使い方以外で発生した事故等については一切の補償および責任を負いかねますのでご了承願います。

保証について

このアンプは高電圧(直流450V)を使用している事と、真空管が高温になるため取り扱いには十分ご注意ください。
特に小さいお子様が居る家庭ではなるべく手の届かない場所に設置されるようお願いいたします。
これらの感電、火傷等による事故への補償はできませんので取り扱いには充分ご注意ください。

**このアンプには真空管ボンネットが付属しておりますので真空管ボンネットを必ずご使用下さい。
このカバーを使用しない場合の火傷などの怪我には一切の責任を負いかねますので十分ご注意下さい**

同梱品

A Cケーブル、取扱説明書(本書)、保証書

開梱 / 接続方法

- 1、箱を開梱して本体にかぶさっているビニールを外して下さい。
- 2、真空管ボンネットは着脱式ですので左右を両手で持って持ち上げれば取り外しできます。
- 3、真空管が真っ直ぐに差し込まれている事を確認して下さい。
- 4、元通り真空管ボンネットを差し込みます。
- 5、付属の電源コードを差し込みます。
- 6、入力機器からのR C Aケーブルを接続します。スピーカークーブルを接続します。
- 7、本機にはR E C端子がありますので録音機がある場合はR E C端子に接続してください

設置場所

真空管アンプは高温になりますので密閉したところには設置しないで下さい。
真空管は周辺の温度により寿命に影響します。

スイッチ類の機能

- 1 . P O W E R : パワースイッチ
- 2 . U L T R A L I N E A R / T R I O D E :
パネル上のU L 接続 / 3 極管接続の切り換えスイッチ
(このスイッチを切り換えるとき多少ショックノイズが出ますが不良ではありません)
U L T R A L I N E A R ポジション : 出力5 0 W でパワー感がある再生音になります。
T R I O D E ポジション : 出力2 5 W で滑らかな再生音になります。
- 3 . S E L E C T O R : 入力ソース切り換えスイッチ
- 4 . パネル上中央のツマミはK T 8 8 真空管のバイアスを見るときに回します。

電源投入 / 切断

電源スイッチを入れる順番は信号の入力順（CD等 - 本機）になります。
電源スイッチを切る順番はその逆（本機 - CD等）になります。
スイッチの入れる順番を間違えるとスピーカーから大きなノイズ音が出る事があり、最悪のケースではスピーカーを破損する恐れがありますので御注意下さい。
尚、このような場合の保証は一切出来かねますのでご了承願います。

KT88真空管のバイアス調整

まず調整する真空管のポジションにバイアスつまみを合わせます。
メーターを見ながらレベル調整ボリュームを回しメーターの指針を左から4番目の目盛りに合わせてます。
（3.5 ~ 4.5の間でOK）に合わせてます。
メーターの多少の誤差は全く問題ありませんが、4本とも近い値に調整してください。
調整が終わりましたらバイアスつまみはセンター（OFF）にしておきます。つまみがセンター位置以外にある場合はスピーカーから多少ノイズ音が聞こえる事があります。
電源スイッチを切る時、ULTRALINEAR / TRIODE切り換えスイッチがUL接続の場合に多少バリノイズが出ますが不良ではありません。Triode接続の場合は出ません。
また電源を投入してから数秒後にノイズが出て消えるのが正常です。

本機をパワーアンプとして使用する場合

プリアンプを使用し本機をパワーアンプとして使用する場合は、本機のメインボリュームを12時の位置から2時の位置の間で御使用下さい。"シュー"というホワイトノイズが出ない位置でご使用下さい。

ヒューズの交換方法

マイナスインプライバー等でAC電源ソケットの中のヒューズホルダーを取り出します。
予備に1個付属してありますが、別途ご用意される場合はヒューズは5Aを使用して下さい。

真空管の交換方法

真空管を交換する際は電源を切って十分に冷えてから行って下さい。
真空管のベース（袴）の部分を持って左右にやや動かしながら慎重に引き抜いて下さい。
新たに真空管を差し込む時はソケットベースのガイドピンの場所をソケットに合わせて最後まで慎重に押し込んで下さい。
交換後、KT88は必ずバイアス電圧を調整し、メーターにて電流を合わせて下さい。
なお、この交換によるアンプの故障が発生した場合はお買い上げ店または当社窓口までお問い合わせ下さい。
但し、この交換による故障につきましては保証対象外となります。

仕様諸元

出力： 50W x 2 (ULTRALINEAR、実効)
25W x 2 (TRIODE、実効)
周波数レンジ： 15 ~ 35000Hz (0, -1dB)
全高調波歪率： 0.8%
SN比： 88dB
入力感度： 300mV
入力インピーダンス： 250k
出力インピーダンス： 4 / 8 / 16
電源電圧： AC100V +/- 5%、50 ~ 60Hz
真空管： V1,V2,V3,V4: 6SN7GT / GTB
V5,V6,V7,V8: KT88
重量： 20kg
外形寸法： 320 x 440 x 200 mm (WxHxD)
消費電力： 240W / hr